

前月比
人口 72,557(+27)
男 34,643
女 37,914
世帯数 20,802(+27)

大 報

おおだて

7月号 (No.264)

編集と発行 — 大館市役所
(電話)42-1212
発行年月日 — 昭和54年7月1日
発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世界に配布しています。届かなかつたり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可(1部5円)

限られた資源を大切に!

エネルギー源の
7割が石油
石油の99.7%が
海外輸入

石油、電気、ガス—これらのエネルギーなしには、私たちの暮らしは1日たりとも成り立たないといっているのです。

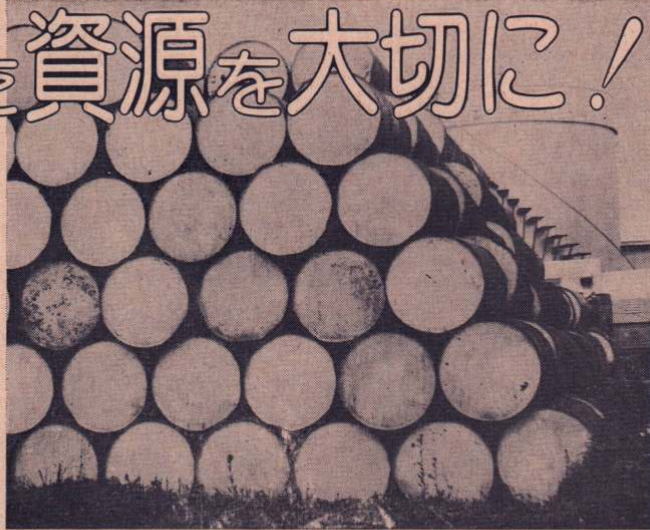
特に、わが国の場合には、産業、輸送、民生すべてのエネルギー需給の約7割を石油でまかなっており、その石油のうち99.7%を海外から輸入しています。私たちの暮らしを支えるエネルギーは、そのほとんどを輸入石油に依存しているのです。

資源に乏しいわが国としては、文字通り、一滴たりとも石油をおろそかにできません。

政府は、IEA(国際エネルギー機関)加盟国の合意に基づき、約5%の石油消費の節減対策を実施しており、先月28、29の両日の東京サミット(先進国首脳会議)でも、石油問題が大きくとりあげられました。

また、本市でも業界や消費者の方々と話し合いをするなど、石油消費量の節約や便乗値上げの防止について検討しています。

皆さんのご家庭でも、限られた資源を大切に、生かして使う生活の再検討が必要なときです。そこでエネルギー節約の参考として、私たちは日常生活でいったい、どれだけのエネルギーを使っているのか、科学技術庁資源調査所がまとめた「ライフサイクル・エネルギーに関する調査」の結果を石油に換算した図をご紹介します。



家庭では1日どのくらいのエネルギーを使っているのでしょうか?

親子4人の標準世帯

●世帯主40歳、妻35歳、長男12歳、長女8歳
●木造1戸建住宅3LDK(325㎡)住宅●主な
毎次消費電力(自動車1台、クーラー1台)約400万円



広報時記

7月

- 陰曆異名・文月(ふづき)
花曆・はすく雄弁
誕生石・ルビー<熱情>
1日(日)・国民安全の日(総理府)
・全国安全週間
(~7日, 労働省)
・河川愛護月間
(~31日, 建設省)
・社会を明るくする運動
(~31日, 法務省)
・愛の血液助け合い運動月間
(~31日, 厚生省)
・省資源・省エネルギーサマーキャンペーン
(~8月31日, 経済企画庁)
・秋田県消防協会大館北秋田支部消防大会(比内町)
2日(月)・田代岳占ひ(田代町)
5日(木)・日本水道協会東北地方支部総会(~6日, 大館市)
・秋田県都市収入役会議
(~6日, 大館市)
10日(火)・国土建設週間
(~16日, 建設省ほか12団体)
12日(木)・毛馬内月山神社祭典
(~13日, 鹿角市)
14日(土)・綴子大太鼓(~15日, 鷹巣町)
・十和田湖水まつり
(~16日, 鹿角市)
15日(日)・青少年非行防止地域運動総決起集会(大館市)
16日(月)・扇田神明社祭典(比内町)
20日(金)・海の記念日(運輸省)
21日(土)・自然に親しむ運動
(~8月20日, 環境庁)
23日(月)・納税貯蓄組合総会(中公)
24日(火)・成章中学校落成式(成章中)
28日(土)・大滝温泉まつり(大滝温泉)

行政報告



市長 畠山 健治郎

6月定例市議会が招集された6月13日、議案説明に先立ち、畠山市長から行政報告がありましたので、その内容を市民の皆さんにお伝えします。

◆教育施設の建設状況について

まず、第一中学校の新築工事についてであります。本年度は3カ年継続事業の最終年度に当たり、工事は順調に進み、校舎は既に完成し使用しております。残りの屋体工事は現在実施設計を委託中であり7月中に入札を執行し、できるだけ年内に完成させたいと考えております。

城南小学校プール新築工事は、現在施行中であり今シーズンに合せ、鋭意工事を進め7月16日しゅ

ん工予定であります。

上川沿公民館新築工事は、53年度に用地を買収し、現在実施設計を委託中であります。

◆水田利用再編対策事業について

農林行政における最大の課題となっている同事業も今年で2年目、県からの配分面積により、昨年度と同じ283ヘクタールに、土地改良通年施行面積1ヘクタールを加えて、4月中旬各農家に配分通知を出しておりますが、このほかに農協も昨年度実績に10%上のせを自主努力目標にかかげて運動していますので、今年の転作面積は、昨年度の322ヘクタールを上まわることは確実かと思われま。今後、集団計画転作及び複合経営の定着化を推進するため、各農家の理解と協力をお願いすると共に、国県に対し、諸施策のより一層の充実を要望してゆきたいと思ひます。

◆し尿処理場について

このことについては、3月定例会においても、それまでの経過を報告してまいりましたが、消化槽をはじめ施設全般にわたり機能が順調に稼働し、安定した状態が続いております。

また、さきに日本環境衛生センターに依頼していただいた性能検査のうち、まだ未調査になっていた現地での調査も去る4月10日、11日に終わっておりますから、今後は、施設の適正な維持管理をし、万全を期してまいりたいと存じております。

◆53年度各会計決算見込みについて

まず、一般会計は、歳入総額113億7,689万円、歳出総額108億2,324万円であり、その差引額は5億5,365万円となりますが、翌年度への繰越財源6,357万円を差引きますと、4億9,008万円の翌年度繰越額となる見込みであります。

次に水道事業会計であります。昭和50年度から施工してまいりました第2次拡張事業は、53年度をもってそのほとんどが完工しました。給水業務はこれに先立ち、53年5月から全面的に開始することができました。53年度の当会計収益的収支の決算は収入が4億808万円、支出が企業債利息等の増加により6億6,219万円となり、損益計算上で2億5,411万円の損失となっております。

また、病院事業会計の収益的収支では、収入が28億4,140万円、支出が27億6,210万円となっており、差額7,930万円の利益を計上できる見込みであります。